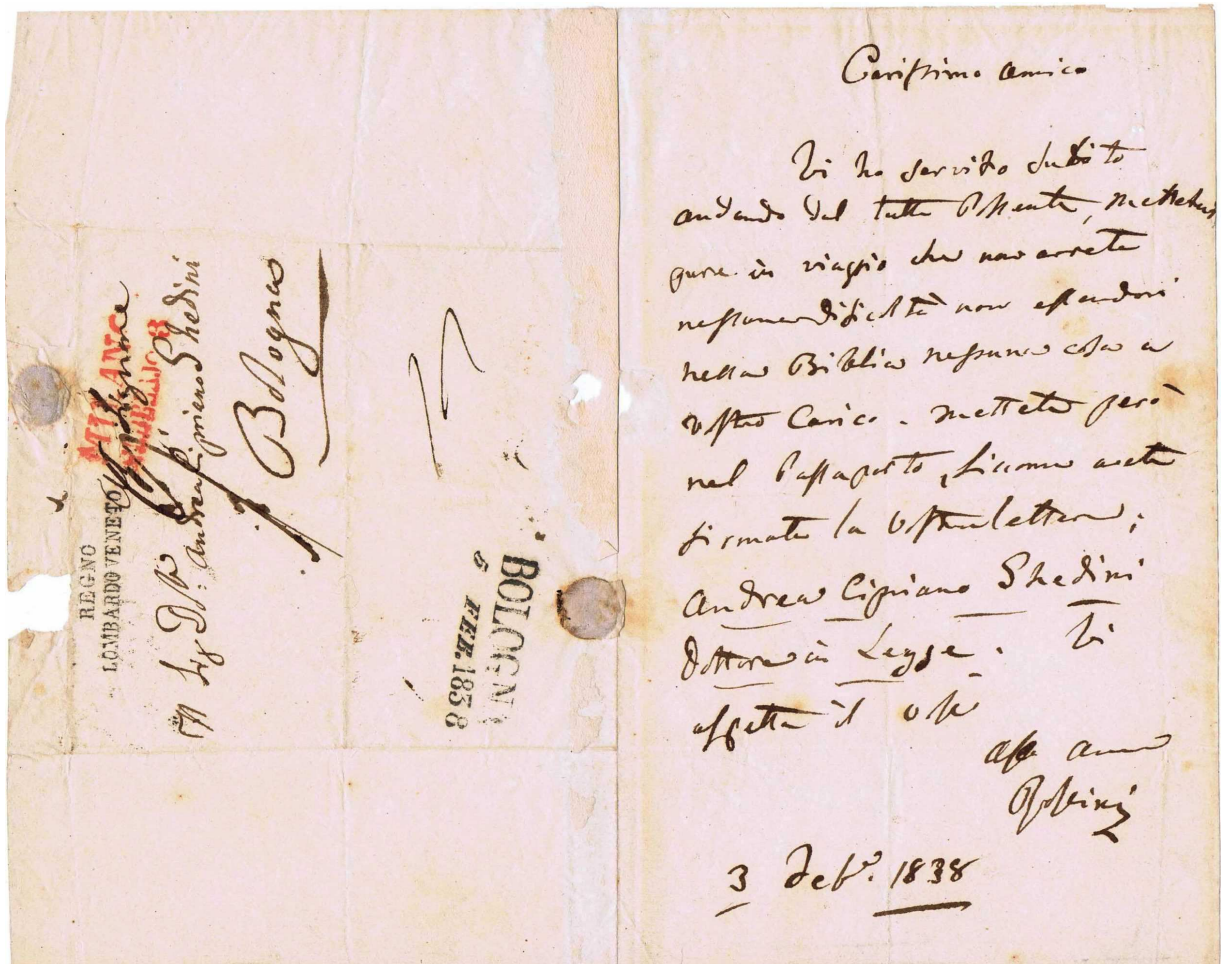


ロッシーニの自筆書簡 1838年2月3日付

(水谷彰良コレクションより)

ロッシーニの自筆書簡 アンドレーア・チプリアーノ・ゲディーニ宛、1838年2月3日付



Ad Andrea Cipriano Ghedini., Lettera autografa firmata di Gioachino Rossini [Milano] 3 Feb.º 1838.

[Collezione privata di Akira Mizutani - Tokyo]

解説

これはボローニャ在住の弁護士アンドレーア・チプリアーノ・ゲディーニ (Andrea Cipriano Ghedini, 1788-1875) に宛て、1838年2月3日にミラーノで書かれたロッシーニの自筆書簡である。19日前の1月15日にパリのイタリア劇場が焼失し、この建物に居住していたロッシーニの親友で同劇場支配人セヴェリーニが死を遂げたことと関連する手紙の一つで、当時愛人オランプ・ペリシエと共にミラーノに滞在したロッシーニはこの事件に衝撃を受け、すぐにもパリに戻りたかったが、さまざまな事情でそれをできずにいた。

ボローニャの弁護士ゲディーニはロッシーニの友人でセヴェリーニと親交があり、ロッシーニはパスポートと一緒にゲディーニの手紙を添えるよう求め、ゲディーニの自筆で「アンドレーア・チプリアーノ・ゲディーニ、法学博士」と署名するよう下線を付して強調している。

用紙サイズは21.3×26.8 cm、2月3日に大急ぎで書いて発送し、宛名の左にミラーノとロンバルド=ヴェネト王国の消印、右に2月5日付のボローニャの消印が押されている。

(2014年11月作成。水谷彰良)